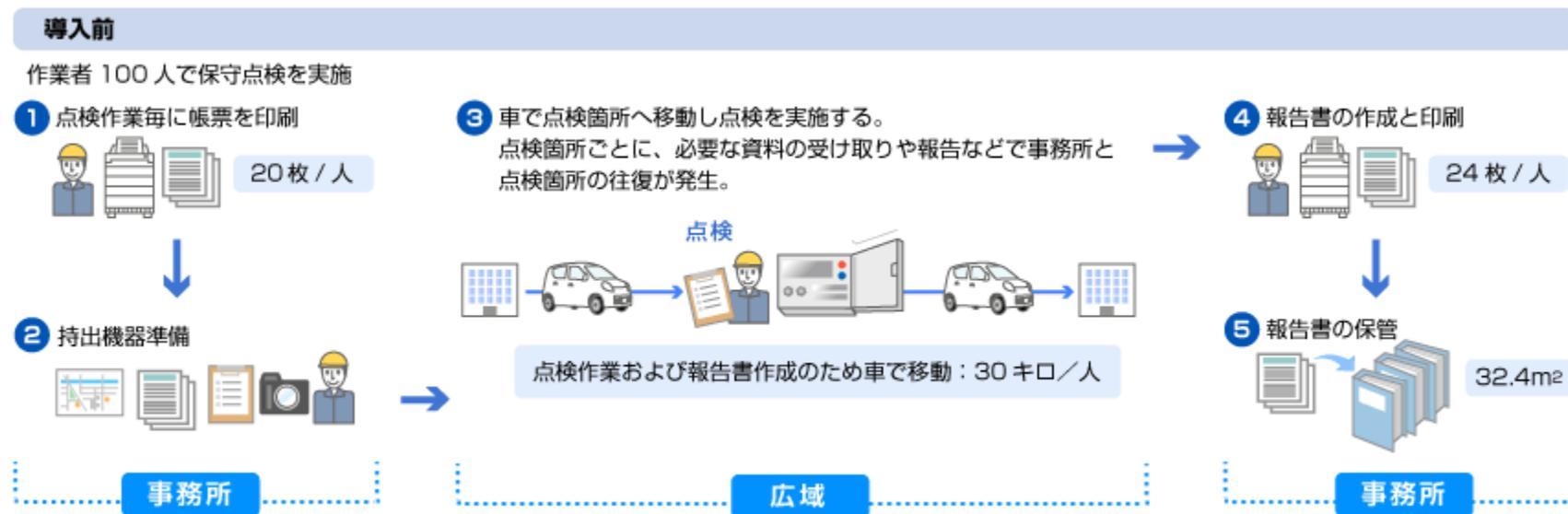


巡視・保守点検システム SmartMaintenance 環境負荷評価モデル

本システムの導入前は、100人の作業者が作業前に点検帳票を印刷し、マニュアルや地図など紙資料を準備後、点検場所まで車で移動し作業を実施。作業終了後は、報告のため事務所まで戻り点検報告書を保管していた。このため、大量の紙を消費するだけでなく、人の移動も多数発生していた。

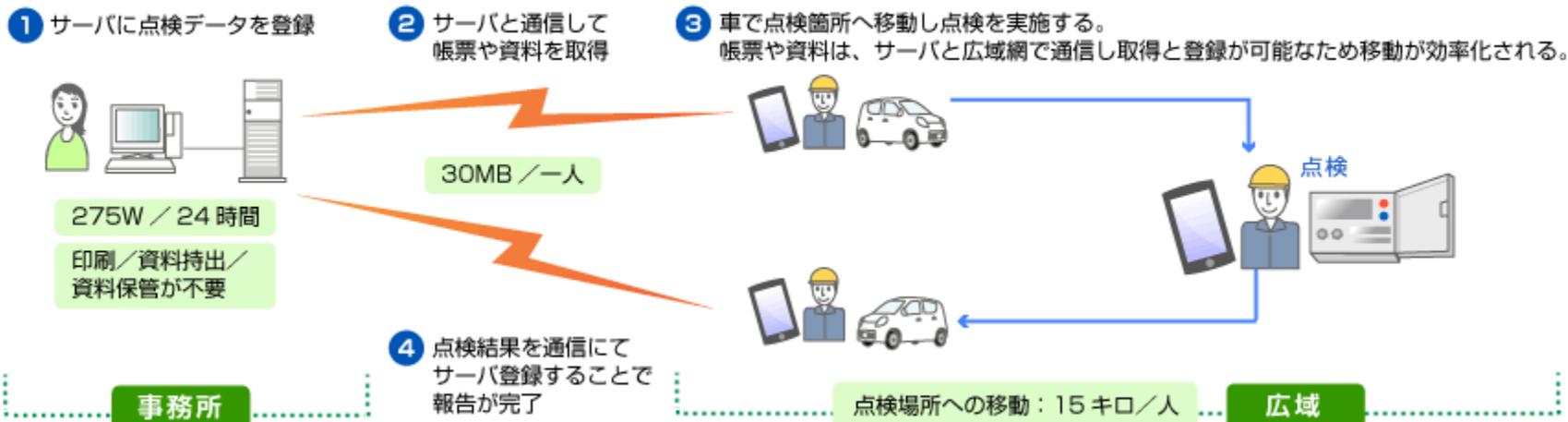


巡視・保守点検システム SmartMaintenance 環境負荷評価モデル

本システムは、タブレット端末に各種データを格納し、情報の閲覧・点検結果を記録・現場での情報取得や登録などが可能なシステムです。本システムを導入することにより、点検業務でのペーパーレスの実現、人の移動等によって発生するCO2を削減することが出来ます。

導入後

作業員 100 人で保守点検を実施



巡視・保守点検システム SmartMaintenance 環境負荷評価モデル

- ・人の移動と紙使用を減らすことができ、CO2を50.4%削減

